



2017年度 日本体育大学 第4回 学校・部活動における重大事件 ・事故から学ぶ研修会

2017年12月14日(木)18時00分～20時30分

日本体育大学世田谷キャンパス・記念講堂

《第1部》「指導死」で失われた、大切な弟の命

①「北海道 吹奏楽部 指導死」ご遺族

《第2部》「学校の対応」と遺族の気持ち

①「名古屋市立向陽高校 柔道部 頭部外傷事故」倉田 久子さん

②「川崎市 いじめ自死事件」篠原 真紀さん

企画： 日本体育大学 スポーツ危機管理学 准教授 南部 さおり

～メッセージ～

2016年度より始まった本学の当研修会も、今回で7回目を迎えます。この二年間で、様々な学校・部活動事故の被害者・ご遺族からの「生の声」をお伝えしてきました。どの方も、これから教員やスポーツ指導者として社会に羽ばたく日体大の皆さんに対して、「もう二度と自分たちのような辛い思いをする人間を作って欲しくない」という熱い思いで、「命の講演」をして下さっています。

今回の研修会は、第1部で吹奏楽部における不適切な指導により死へと追い詰められた高校1年の男子生徒のお姉様にご登壇頂き、大好きな弟に対する「指導とは呼べないような教師からのいじめ・パワハラ」と、学校による心無い事後対応がいかなるものであったか、いかにかけがえのない命が失われたのかについて語って頂きます。第2部では、「いじめ自死」と「柔道頭部外傷死」という最悪の事態によってわが子を亡くした二人のお母様にご登壇頂きます。この両事例は、誠に痛ましいものでありながら、市教委側あるいは学校側が事態に対して真摯に向き合い、遺族に対して精一杯に誠実に対応したという、学校事故事例の事後対応としては“稀有”ともいえるものでした。

これらの対照的な実例を知ることによって、「事件・事故に対し、学校や教員等関係者はいかに向き合うべきか」ということが見えてきます。

教員を目指す日体生の皆さん、現在教職員である方々、この問題に関心を持つ全ての方々に、こうした問題について深く考え、学ぶ機会となれば幸いです。

申込先：<https://goo.gl/forms/j9SELu2Zf6IKziqe2>



本研修会に関する問い合わせ

日本体育大学 総合スポーツ科学研究センター

TEL : 03-5706-0931 (担当：中嶋・國嶋) までお願いします。